

# 下関北九州道路整備促進大会、要望活動

平成30年12月16日(日)北九州市内において、当連合会苅田会長・吉村関門連携委員会委員長をはじめ約300名の関係者出席のもと「下関北九州道路整備促進大会」を開催した。

大会では、これに先立ち開催したPPPセミナーの成果報告を行うとともに、事業化に向け、国による計画段階評価手続きへの早期移行など下関北九州道路早期整備に向けた決議を採択した。これを受け、12月21日(金)東京都内で要望活動を実施、当連合会から苅田会長が参加した。

## 1. 下関北九州道路の早期整備への動き

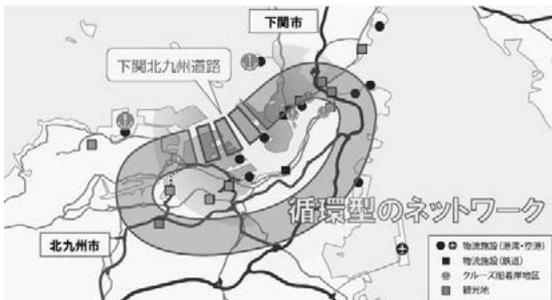
下関北九州道路の早期整備に向けては、平成26年より山口県、福岡県、下関市、北九州市の地元2県2市、地元経済界等が連携し、整備促進大会の開催や政府・関係省庁等への要望活動を実施してきた。

### ■調査検討会

今年度は、平成29年度に続き地元関係自治体、経済界、国(整備局)による「下関北九州道路調査検討会」において、概略ルート、構造形式、整備手法に関する調査・検討を実施した。

### 下関北九州道路のあり方

暮らし	両市間の行き来を容易にすることで 交流人口の増加と生活圏の拡大を図ります
産業・物流	産業・物流拠点を効果的につなげることで 円滑で安定した物流ルートを形成します
観光	関門海峡のまわりに点在する観光資源を享受できる 循環型周遊ルートを形成します



7月4日、第3回調査検討会では、これまでに取り纏めた概略ルート、構造形式、整備手法に関する地域への意見聴取の方策等を検討した。

### ■下関北九州道路PPPセミナー

(in下関：11月20日、in北九州：11月21日)

地元経済界が中心となり、「下関北九州道路」でのPPP事業\*による周辺地域の利便性の高いネットワーク構築や地域活性化への方策検討等を目的に開催された。

(参加者：下関会場156名、北九州会場150名)

\*パブリック・プライベート・パートナーシップ(公民連携)

## 2. 整備促進大会(12月16日、於北九州市)

### ■大会概要

下関北九州道路整備促進期成同盟会や各県市議会議員連盟、下関北九州道路建設促進協議会、中国・九州両経済連合会などの共催により、整備促進大会を開催した。

地元2県2市の首長や各県市議会の議長・議員、経済界から約300名の関係者が出席した。

冒頭、当連合会の苅田会長が大会主催者の一



苅田会長の挨拶

人として挨拶に立ち「下関北九州道路は、下関・北九州両都市圏の発展、西日本の広域交通ネットワーク機能や災害時のリダンダンシー確保のために不可欠。中国と九州の交流・連携を加速させ、当地域の新たな可能性をもたらす同道路の整備促進を引き続き、国に対し強く訴えかけていく」と述べた。

また、吉村関門連携委員会委員長が地元経済界を代表して意見提言を行い「下関北九州道路は生活の利便性向上、物流効率化や産業・観光の振興など当圏域の発展や活性化に欠かせない重要インフラ。地域の賑わい創出へ向け、観光客の地域周遊促進等のためにも重要」と訴えた。

大会では、市民からの意見提言なども行われた後、早期実現に向けた決議が採択された。

### ■決議要旨

1. 事業化に向け、国による計画段階評価などの手続きに早期に移行にすること。
2. 早期整備を図るため、PFIの活用など官民連携による整備手法の検討を促進する。
3. 平常・災害時を問わない安定的な輸送確保のため「重要物流道路」に位置づけること。

## 3. 要望活動(12月21日、於東京都)

12月16日の整備促進大会で採択した決議結果を踏まえ、地元2県2市の首長・議会議員、当連合会の苅田会長など、整備促進大会の主催メンバーを中心に中央要望を実施。

石井啓一国土交通大臣および麻生太郎財務大臣などに対し、調査検討成果を報告するとともに、同道路の早期の事業着手を要望した。



石井国土交通大臣への要望

(担当：齊藤)